

TLV 安全上の注意

TRAP STATION V1P/V2P

重要:
この製品は、TLV製のQuickTrapシリーズのトラップユニットとの接続用です。トラップユニットとの接続要領、及び配管への取付け要領などは、同梱されている安全上の注意事項を必ずお読み頂き作業を行なってください。



安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や物的損害を未然に防止するためのものです。
- 本機器を正しく安全に使用していただくため、本機器の取付、使用、保守、等にあたっては、下記に記載されている安全上の注意事項を必ず守ってください。尚、これらの注意に従わなかったことにより生じた損害、事故については、当社は責任と保証を負いません。

図記号 **注意** :人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

	注意	製品を正しく設置し、最高許容圧力・温度等、製品の仕様範囲を外れる使用方法は絶対にしないでください。 製品の破損、異常作動等により重大な事故を起こす恐れがあります。
		製品出口側の開口部は、直接人が触れられないようにしてください。 流体を排出し、ケガ、火傷、損傷等する恐れがあります。
		製品の分解、取外しは、製品内部の圧力が大気圧になり、また製品表面温度が室温になってから行ってください。 製品に圧力、温度が加わっている場合は、流体が吹出しケガ、火傷、損傷等する場合があります。
		接続ねじ部を締め過ぎないようにしてください。 締め過ぎますと接続部が割れて流体が吹出し、ケガ、火傷、損傷等する恐れがあります。
		ハンドルの上に乗ったり、体重を掛けたりしないでください。 ハンドルが折れてケガ、損傷等をする恐れがあります。
		ハンドルをつかんで運搬しないでください。 ハンドルが回転しバランスを失い、落下してケガ、損傷等をする恐れがあります。
		ブローダウンバルブ、テストバルブの操作時は、常に保護眼鏡、保護グローブを着用してください。 ケガ、火傷、損傷等する恐れがあります。
		ブローダウンバルブ、テストバルブの操作時は、内部流体が中央部からの吹出す方向だけでなく、配管等からの跳ね返りにも十分注意し、身体にかからない姿勢で急開閉せずゆっくり確実に操作してください。 流体によりケガ、火傷、損傷等をする恐れがあります。
		ブローダウンバルブ、テストバルブには、締付トルク以上の無理な締め付けは絶対に行わないでください。 ネジが破損し、ケガ、火傷、損傷等する恐れがあります。
		ブロー弁は外れないようにピンを取付けていますが、無理に回し過ぎないようにしてください。 内部に圧力が有る場合は、ブロー弁が外れて吹き飛び、ケガ、火傷、損傷等をする恐れがあります。

使用上のご注意

	注意	配管内の異物を取り除くため、使用前には清掃・フラッシングを行なってください。 一度に多量の異物が入った場合、不良原因となります。
		配管直前まで梱包材から製品を出さないでください。またポリ栓、シールが付いている場合は配管直前に取外してください。 異物が入った場合、不良原因となります。
		ワイヤブラシや硬い物でスクリーンを清掃しないでください。 スクリーンメッシュの破損や剥離を引き起こす恐れがあります。

仕様

型 式	V1P-RL / V1P-RB / V1P-RW / V1P-RV V1P-LB / V1P-LW / V1P-LV	V2P-RL / V2P-RB / V2P-LB
製 品 名	TRAP STATION	
出入り口バルブ	入口側のみ	入口側/出口側両方
本 体 材 質	ASTM A105 / ASTM A182 F304	
呼 径	15, 20 (mm)	
最高許容圧力(PMA) ¹⁾ / 最高許容温度(TMA) ¹⁾	5.0 MPaG / 425 °C	
最高使用圧力(PMO) ²⁾ / 最高使用温度(TMO) ²⁾	5.0 MPaG / 425 °C	
適 用 流 体	蒸気・ドレン	
接続対象の TLV 製品 (トラップユニット型式)	フリーフロート式 S3, S5, S5H S3-K, S5-K	ディスク式 P46UC
注意:ここに記載する型式 は、一般に供給でき ない特殊仕様品も含 みます。	サーモスタティック式 L5, L21, L32 L5-C, L21-C, L32-C	
		この他のトラップユニットに関しては TLVへお問い合わせください。

¹⁾トラップステーション本体のみとして、耐圧部が許容される最高圧力/最高温度で、最高使用圧力/最高使用温度ではありません。

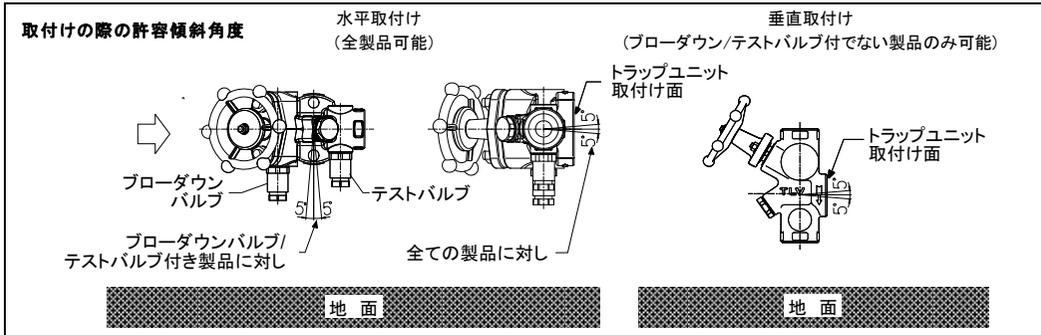
²⁾トラップステーション本体の値です。使用範囲は使用するトラップにより制限されます。

型 式	V1P-RL	V1P-RB	V1P-LB	
外観形状				
フロー図				
流れ方向	左→右 右→左	左→右	右→左	
ブローダウンバルブ	—	●	●	
テストバルブ	—	—	—	
型 式	V1P-RW	V1P-LW	V1P-RV	V1P-LV
外観形状				
フロー図				
流れ方向	左→右	右→左	左→右	右→左
ブローダウンバルブ	●	●	—	—
テストバルブ	●	●	—	●
型 式	V2P-RL	V2P-RB	V2P-LB	
外観形状				
フロー図				
流れ方向	左→右 右→左	左→右	右→左	
ブローダウンバルブ	—	●	●	
テストバルブ	—	●	●	

製品の取付け

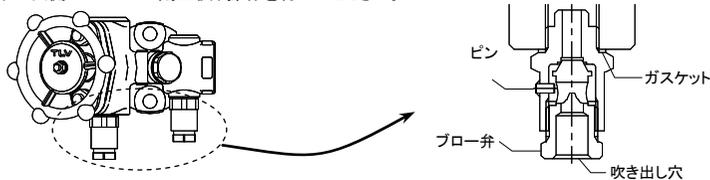
設置方法

1. 本製品を取付ける前に十分にブローして配管工事クズ等を排除してください。
2. 製品の入口・出口に付いている防塵用キャップまたはラベルを外してください。
3. ドレンの流れる方法と本体上の矢印を一致させて取付けます。
4. ハンドルは操作者側に向くように取付けます。この時、トラップユニット取付け面は地面に対し垂直であることを確認してください。ブローダウンバルブ/テストバルブ付製品の場合、必ず排出口が下側(地面側)になるように配管してください。
5. ブローダウンバルブ/テストバルブ付製品の場合、取付け方向は水平方向で、取付け許容傾斜角度は、水平方向およびトラップユニット取付け面において下図の如く5°以内です。
6. ブローダウンバルブ/テストバルブ付でない製品の場合、取付け方向は水平・垂直方向のどちらも可能ですが、垂直取付け時は入口側を必ず上にしてください。取付け許容傾斜角度は、トラップユニット取付け面において下図の如く5°以内です。
7. トラップを取付けます。取付けは、トラップユニットに同梱されている取説に従ってください。
8. 出口管を取付けます。
9. ハンドルを徐々に開き、トラップが正常に作動することを確認します。



ブローダウンバルブおよびテストバルブ使用方法

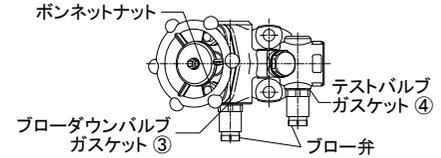
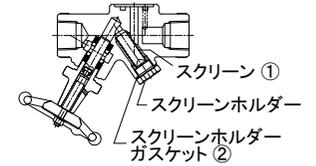
ブローダウンバルブは上流のバルブ閉止後、ブロー操作により残圧を無くする方法として使用できます。また内部スケールやゴミを除去するために内部の圧力を利用して、大気に排出する時に使用するブローバルブとしても使用可能です。二次側が大気開放ではなくドレン回収されているようなケースにおいては二次側のバルブの閉止後、操作を行ってください。テストバルブはV1P、V2Pに取付けられたトラップの作動確認を行うバルブです。二次側が大気開放ではなくドレン回収されているようなケースにおいては、二次側のバルブの閉止後、操作を行ってください。



1. 出荷時、ブローダウンバルブ・テストバルブのブロー弁は閉弁した状態で出荷されています。ブローダウンバルブ・テストバルブを操作する前にもう一度、ブロー弁が閉弁状態になっているか確認してください。また、ブロー弁から吹き出すドレンや流体で火傷等しないために、ブロー弁中央の穴の位置を確認してください。作業中は、顔や手足等をブロー弁の吹き出し側には絶対に近づけないでください。
2. ブロー弁を開けている間は、現場を離れないでください。ブロー弁を開弁する時、ブロー弁座側に工具を掛け回り止めをしてからブロー弁に工具を掛けてゆっくり緩めてください。ブロー弁中央の穴より、内部流体・ドレン等が排出されます。また、ブロー弁を外してしまうような無理な作業は行なわないでください。(ピンの破損でブロー弁が抜けてしまい、多量の蒸気が吹き出します。)
3. ブロー弁を閉弁する時は、流体・ドレン等が止まるまでブロー弁を締めてください。締め込んでも流体・ドレン等が止まらない場合は、スケール等のゴミ噛みが発生しますので、再度緩めてブロー弁開させた後、ブロー弁座側に工具を掛け、回り止めした状態で締め込んでください。(締付トルク以上の無理な締付けは絶対に行なわないでください。ネジが破損してしまいます。)

締付トルク一覧表

部品名	トルク (N・m)	対辺寸法 (mm)
スクリーンホルダー	60	22
ボンネットナット	5	13
ブローダウンバルブ・テストバルブ	60	22
ブロー弁	30	17



メンテナンスについて

右図の①～④の部品を除き、交換部品の供給は基本的に行っていません。他の部品交換を希望される場合はお問合せください。なお、ガスケット材質は本体材質によって異なりますので、ご注文の際は本体材質をお知らせください。

製品保証

本保証書に定める条件に従い、株式会社ティエルブイ(以下「TLV」といいます)は、TLVもしくはTLVグループ会社が販売する製品(以下「本製品」といいます)が、TLVが設計・製造したものであり、TLVが公表した仕様書(以下「仕様書」といいます)に適合しており、製造上の欠陥がないことを保証します。ただし、本保証書の内容が、本製品に関する保証の内容のすべてであり、明示または黙示を問わず、その他の保証などは一切行いません。

TLVは、当社とは関係のない第三者が製造した製品または部品(以下「部品」といいます)については、保証は行いません。

保証が適用されない場合

本保証書に定める条件は、次のような原因による欠陥や故障の場合には適用されません。

1. TLV、もしくはTLVグループ会社以外の者、またはTLVが認定したサービス担当者以外による不適切な出荷、設置、使用、取り扱いなどの場合。
2. 汚れ、スケール、錆などが原因の場合。
3. TLVもしくはTLVグループ会社以外の者、またはTLVが認定したサービス担当者以外による不適切な分解・組み立てが行われた場合。または、適切な点検・整備が行われていない場合。
4. 自然災害、天災地変もしくは不可抗力による場合。
5. 間違った使用、通常の方法以外での使用、事故、その他TLV、もしくはTLVグループ会社の支配が及ばないことを原因とする場合。
6. 不適切な保管、保守または修理による場合。
7. 取扱説明書の指示に従わないで、または業界で認められている慣行に従わない方法で製品を使用した場合。
8. 本製品が意図していない目的または方法で使用した場合。
9. 本製品を仕様範囲外で使用した場合。
10. 適用外流体※1に本製品を使用した場合。
11. 本製品の取扱説明書に記載されている指示に従わなかった場合。

※1: 蒸気、空気、水、窒素、二酸化炭素、不活性ガス(例えば、ヘリウム、ネオン、アルゴン、クリプトン、キセノン、ラドンなど)以外の流体

保証の期間

本製品の保証期間は、最初のエンドユーザーに納入されてから1年間、またはTLV出荷後3年間のいずれか早く到来する日まで有効です。

保証の範囲とその条件

上記保証の期間内にTLV、もしくはTLVグループ会社の責任により故障を生じた場合は、その製品の交換または修理のみを行います(それ以外の保証は行いません)。ただし、以下の書類の提出を条件とします。

- (a) 保証が適用されることが証明できる事項が記載されたもの。
- (b) 購入履歴が証明できる事項が記載されたもの。

なお、交換または修理の対象となる本製品の返送などに関する費用は、購入者またはエンドユーザーの負担とさせていただきます。

責任の限定

TLV、もしくはTLVグループ会社は、本製品または本保証内容に関連して被るいかなる種類の損失(購入者、エンドユーザーの損失を含むがこれらに限らない)※2について、TLV、もしくはTLVグループ会社、またはそれらの代表者もしくは担当者が当該損失の発生の可能性について知らされていたか、認識すべきであったかにかかわらず、いずれの責任の理論※3に基づく責任も負わないものとします。

上記規定にかかわらず強行法規などの適用により、本製品または本保証内容に関連して、TLV、もしくはTLVグループ会社が負うことになる責任がある場合、その責任は、購入者がTLV、もしくはTLVグループ会社に実際に支払った本製品の代金額(ただし、製造上の欠陥が認められる本製品の代金額に限られ、製造上の欠陥が認められない本製品の部分は含まない)を上限とします。

※2: 通常損害のほか、間接損害、付随的損害、特別損害、派生的損害、拡大損害、製造ラインの停止に伴う損害を含みますが、これらに限りません。

※3: 契約、不法行為(過失を含みます)、その他の理由のいずれによるかを問いません。

保証の分離有効性

本保証内容のいずれかの項目が無効と判断された場合においても、その他の規定は影響を受けないものとします。

アフターサービス網

アフターサービスのご用命は、最寄りの営業所、または下記のカスタマー・コミュニケーション・センター(CCC)にお願いします。

苫小牧営業所、仙台営業所、東京営業所(東京CESセンター)、静岡営業所、名古屋営業所、富山営業所、大阪営業所、加古川営業所、岡山営業所、広島営業所、福岡営業所



本社・工場 兵庫県加古川市野口町長砂881番地 〒675-8511
カスタマー・コミュニケーション・センター(CCC)

TEL (079)427-1800
FAX (079)422-2277
ホームページ <https://www.tlv.com>

TLV技術110番 (079)422-8833